

国の戦争市民で阻止

沖縄・西日本ネット結成

【鹿児島で南彰】沖縄・九州を中心に広がる自衛隊や米軍による軍備強化を止めよう、"ノーモア沖縄戦 命どう宝の会"など沖縄の平和団体と各地の地域団体が連帯した全国組織「戦争止めよう！沖縄・西日本ネットワーク」が22日、鹿児島市のよかセンター鹿児島で結成集会を開いた。オンラインを含めて約500人が参加し、ノーモアの具志堅隆松さんら4人が共同代表に就任した。事務局はノーモアが担当。

(22、23面に関連)

日本国憲法のもと、私たちの「戦後」は80年を迎える。しかし、この国は、アジアの国々・人々への侵略・植民地支配の責任に向き合うことなく、また、自国の戦争被害者に対する責任も放棄したまま、新たな戦争体制づくりを急スピードで行っている。

沖縄・奄美の島々では、新たな自衛隊基地が造られ、その軍事拠点化は九州を中心に西日本から全国に拡大している。また、米日・NATO諸国などによって、中国を「仮想敵」とする合同軍事演習が日本各地・周辺海空域や南シナ海などで繰り返され、「中国包囲網」の構築が行われている。私たちは戦争の加害者にも被害者にもなりたくない。

「知り、つながり、止める。」

平和を創り出すために、私たちは新たな闘いに歩み出す。連帯し、市民の共同の力で、「国家による戦争」を止める。ここに、「戦争止めよう！ 沖縄・西日本ネットワーク」の結成を宣言する。

12団体呼びかけ 具志堅さん共同代表

集会では、「大軍拡りたくない。市民の共同の力で『国家による戦争』を止める」と結成宣言をした。敵基地攻撃能力(反撃能力)もあつた。

ネットワークの合言葉は「知り、つながり、止める」。

主に沖縄・西日本の戦争反対・平和活動が主体の地域団体や個人に参加を呼びかける。各地の状況を情報共有し、ミサイルや弾薬庫

- ノーモア沖縄戦 命どう宝の会
- ミサイル配備から命を守るうるま市民の会
- 石垣島の平和と自然を守る市民連絡会
- さつま町の弾薬庫問題を考える会
- 平和を求め軍拡を許さない女たちの会・熊本
- 数戸ミサイル弾薬庫問題を考える市民の会
- ローカルネット大分・日出生台
- 辺野古土砂ストップ北九州
- 平和といのちをみつめる会
- ノーモア沖縄戦えひめの会
- ピースリンク広島・呉・岩国
- 京都・祝園ミサイル弾薬庫問題を考える住民ネットワーク

「戦争止めよう！ 沖縄・西日本ネットワーク」の呼びかけ団体(2月22日時点12団体)の配備などの軍備強化だ。6月上旬には東京にあらがう運動を連帯行動も行う予定だ。ネットワークの呼びかけていく考え

かけ団体は、22日時点で12団体。沖縄からはノーモアのほか、「ミサイル配備から命を守るうるま市民の会」と「石垣島の平和と自然を守る市民連絡会」が呼びかけ団体に名前を連ねている。

共同代表には、具志堅さんのほか、熊本、愛媛、京都の地域団体から3人が就任した。